

269 号

11 月例会のお知らせ

日 時 : 11 月 23 日 (祝日) 13 時半～17 時半  
 場 所 : 府中町屋倶楽部  
 内 容 : 平成 29 年『絵暦』ケース入れ作業

今年もまたこの時期がやってきました。  
 勤労感謝の日に勤労奉仕をしていただくのは誠に申し訳ないのですが、皆様のお力なしには、この絵暦を発行し続けられませんので、どうかご協力いただけますようお願いいたします。お帰りの際には出来立ての一部をお持ち帰り下さい。

■「菊の香や月夜ながらに冬に入る 正岡子規」  
 菊人形が幕を下ろした翌日の 7 日は「立冬」です。今年は早くから気温が低く、秋らしい、気持ちのよい日が少なかったような気がします。これからは本格的な冬に向けて一層寒い日が増えていくことでしょうかからご自愛下さい。

■先月の例会では来年の絵暦の説明を致しました。平成 5 年以来、毎年故郷の歴史、文化、環境をテーマに絵暦を作ってきていますが、今回は「越前の里の虫たち」を取り上げました。少年の頃から 70 年以上も虫や花や俳句に親しんでこられた津郷勇氏の写真と解説は、越前市の環境の豊かさを紹介しています。また、高中遊子という俳号を持たれる津郷氏の、「おにやんま 飛べ少年で在りし日へ」などの俳句も楽しんでいただけるとおもいます。

「発刊に寄せて

何年か前のこと、奈良の初瀬にある長谷寺へ盛りの牡丹見物に行つての帰り、土産を買おうと門前町のあちこちを歩いていた時、黒い大きな蝶が目の前にヒラヒラと舞い落ちてきた。クロアゲハかと見ていると後翅尾状突起がないナガサキアゲハだとわかり、初めて見る蝶に驚くのと同時にナガサキアゲハを桜井市初瀬で見られたことを疑問に思った。不勉強の吾が身を恥じるのだが既

に温暖化の所為かこの蝶の北上が進んでいるらしい。その後福井でも嶺南で何件か、また福井市でも見た例があることを知った。村国山周辺ではまだ見ていないが、そのうち見られるのかなと蝶と温暖化の関係が気になる。

村国山周辺でも色々と虫や花を見ているが、そう言えばつい先年、遊歩道端でカラムシの葉にいたラミーカミキリを撮影している。この甲虫もすでに石川県境辺りまで見られるようになってきたか。珍しい虫が見られるのは嬉しいが、温暖化が進むことに喜んで居られない。ウスバキトンボの初見日は早くなり、没姿日が遅くなっているのも 10 年来の観察で気になっている。

今まで普通に見られた蜻蛉や蝶などでも最近見えないなと思う種類がある。個人的には処置ないが、せめて環境と生物の多様性に関心を深めたい。  
 福井高専名誉教授 津郷勇

■今年の「源氏物語アカデミー」には、毎年『絵暦』を 60 部も買って下さる茨城県竜ヶ崎市の「源氏物語を楽しむ会」から、13 名の参加がありました。またその方々が金澤で立ち寄った老舗の和菓子屋「高砂屋」に、『絵暦』が飾ってあって、その女将が「来年は私も源氏アカデミーに参加したい」と、言われていたと聞き、『絵暦』の大きな広がり驚いています。